

「解答例」

| | |
|------|--|
| 選抜区分 | 平成31（2019）年度（選抜区分：後期日程） 外国語学部中国学科（科目名：小論文） |
| | <p>問一</p> <p>日中戦争で日本軍の将兵は中国を侵略しながらも、中国の歴史や地理についての相当の知識を有し、中国の文化と文明に対する憧憬の念を持っていた。この矛盾した認識は現在の日本人の中国理解にも見られ、「知」と「情」に依拠すれば、日中の友好的交流は推進できると思ひ込む人々が存在する。これは日本軍将兵の中国認識と共通した問題である。むしろ、日本人の中国に対する表面的な理解は「知」の深化を怠らせ、「情」は国家間の正常な交渉を妨げかねない。日中両国の交流が長く深いからこそ、日本人が中国を理解することは難しい。中国を理解するには、「知」と「情」をいったん捨て、中国は日本と風土や歴史を異にする外国であり、認識のズレが生じるのは当然であると認め、中国の過去と現在について、安易で短絡的で感情的な結論を出すのではなく、不明は不明として冷静に思考する必要がある。こうしてこそ、中国との交流は本物で長期的なものにできる。（三九八字）</p> <p>問二（出題の意図）別紙</p> |